

政策名	4環境にやさしい港		責任者	港営部 プレジャーボート対策担当 課長	連携担当課
基本施策名	06秩序ある港湾環境づくり				
個別施策名	20放置艇対策を推進する		連絡先	052-654-7814	
事務事業名	03プレジャーボート暫定係留保管区域・施設の確保				

1 PLAN(目的・概要)

目的	放置等の状態にあるプレジャーボートの暫定的な係留保管場所を確保します。	事業期間	平成13年度～※ ※「その他特記事項」参照
概要	放置等の状態にあるプレジャーボートを収容する恒久係留保管施設を整備・確保するまで、暫定的に係留保管できる区域・施設を設置し、秩序ある係留保管を目指します。そのため、設置に向けて関係機関や利用者等との調整を行います。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

21年度の実施内容 【及び22年度の実施予定】	他港調査を整理し、暫定係留保管区域指定に向けて関係行政団体と問題点及び諸課題について意見調整をし、合意形成を進めました。平成22年度も、平成21年度と同様な作業を進めていきます。							
活動指標	年度	19	20	21	22	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
関係機関や利用者等との合意形成への調整回数	単位	目標	-	-	-	-	-	合意形成への調整回数を判断の指数とします。
	回	実績	2	0	5			
	単位	目標						
		実績						
事業費	千円	172	72	24	153			
人員 正規職員	人	0.60	1.00	1.40	1.50			
	嘱託職員	人	0.10	0.20	0.70	0.70		
人件費相当額	千円	5,601	9,543	14,961	16,238			
事業費・人件費の合計	千円	5,773	9,615	14,985	16,391			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H21は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)	
暫定係留保管区域・施設の設定への進捗率	単位	目標	10	10	15	25	(累計)100	全体予定は5箇所、平成24年度に3箇所を目標とした進捗率を判断の指数とします。	
	%	実績	10	5	10				
	達成率(%)		100.0	50.0	66.7				
	単位	目標							
		実績							
	達成率(%)								
観点	課題の有無	現状の「見える化」					その他特記事項		
必要性	組合関与の必要性	(有)・無							※事業の進捗状況に応じて今後目標年度を設定します。
	目的・水準の妥当性	有・(無)							
	利用者などの対象者ニーズ	有・(無)							
有効性	成果の達成度	(有)・無							
	内容の妥当性	有・(無)							
効率性	実施主体の妥当性	(有)・無							
	受益者負担の適正性	(有)・無							
	経済性	(有)・無							

4 ACTION(取組)

事務事業の方向性	取組の方向性(「継続」「延伸」事業のみ)				判断の理由
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 延伸 <input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 休廃止	成果	拡大			ボートパークⅡ期の供用に合わせ、放置艇対策を強化するために必要であるため。
		維持		○	
		縮小			
		コスト			
今後の取組内容 ・改善策 ・スケジュールの建て直し等		ボートパークⅡ期の供用に向け、秩序ある係留保管のため、関係機関等と具体的な内容の検討を進めます。			